



\* 安全・安心で品質の良い干柿をつくるため、薬剤防除を徹底し、きれいな原料柿を生産しましょう。

\* 薬剤散布は散布ムラのないように実施しましょう。

散布日	散布時期	散布薬剤 (水100ℓ当り)	収穫前 使用時期	使用回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注意事項
月 日	発芽前 (3月下旬 ～ 4月上旬)	① 水(90ℓ) 展着剤 10mℓ 石灰硫黄合剤 10 ℓ	発芽前	—	300	(黒星病) カイガラムシ類	① 石灰硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかからないようにする。 ② 【代替】石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル 50 倍でも良い。
月 日	特別防除 カイガラムシ 多発園	※樹幹塗布 (水:アルバリン=1:1) 水(20 mℓ) アルバリン顆粒水溶剤 20g	発芽前	1回	(1 樹) 20g ～ 40g	コナカイガラムシ類	① 樹幹塗布は主幹部の粗皮を 30cm 以上削り、塗布する。 直径 20cm 以上の樹は 40g塗布。
月 日	5月 月上旬	② 展着剤 10mℓ サムコルフロアブル 10 20mℓ ダイアジノン水和剤 34 100 g	前日 45日前	3回 4回	400	ハマキムシ類 オオワタコナカイガラムシ カキノヒメヨコバイ カキノヘタムシガ ケムシ類 ハスモンヨトウ	① カキノキマダラメイガ・ヒメコスカシバの発生がある場合は、ガットサイド S の1.5倍液(45日前、2回)を主幹部・主枝及び垂主枝の分枝部に 100～1,000ml/樹 散布する。 ② 【農家在庫 整理】スプラサイド水和剤(1500 倍、30 日前、3 回)が残っている場合は、ダイアジノン水和剤 34 に代えて使用してもよい。
月 日	6月 月上旬	③ 展着剤 10mℓ キノド一颗粒水和剤 100 g サイアノックス水和剤 100 g	14日前 45日前	5回 3回	500	落葉病、炭疽病 うどんこ病 フジコナカイガラムシ カキノヘタムシガ カメムシ類	① 【代替】サイアノックス水和剤に替えてスミチオン水和剤 40 800 倍(30 日、3 回)でも良い。 ② スミチオン水和剤 40 の使用回数はガットサイドSと合わせて3回までとする。
月 日	6月 中下旬 落葉病重点防除	④ 展着剤 10mℓ モスピラン顆粒水溶剤 25 g オーソサイド水和剤 80 100 g	前日 7日前	3回 5回	500	落葉病、炭疽病 すす点病 アザミウマ類 カイガラムシ類 カキノヘタムシガ カメムシ類	
月 日	7月 上中旬	⑤ 展着剤 10mℓ キノド一颗粒水和剤 100 g	14日前	5回	500	落葉病 炭疽病 うどんこ病	① 【すす点病対策】キノド一颗粒水和剤に代えてベルコート水和剤 1,500 倍(14 日前、3 回)を使用する。
月 日	7月 下旬 落葉病重点防除	⑥ 展着剤 10mℓ オーソサイド水和剤 80 100 g オリオン水和剤 40 100 g	7日前 21日前	5回 1回	500	落葉病、炭疽病 すす点病 アザミウマ類 ハマキムシ類 カイガラムシ類 カキノヘタムシガ ケムシ類、イラガ類 カキノヒメヨコバイ	
月 日	8月 上中旬	⑦ 展着剤 10mℓ ダントツ水溶剤 50 g トップジン M 水和剤 100 g	7日前 前日	3回 6回	500	落葉病、炭疽病 うどんこ病 アザミウマ類 コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ カメムシ類	① 果実全体に薬液がよくかかるよう散布する。
月 日	9月 上中旬 (着色開始期前)	⑧ 展着剤 10mℓ モスピラン顆粒水溶剤 25 g キノド一颗粒水和剤 100 g	前日 14日前	3回 5回	500	炭疽病、うどんこ病 アザミウマ類 カキノヒメヨコバイ カキノヘタムシガ カメムシ類 カイガラムシ類	
月 日	特別散布 10月 上中旬	展着剤 10mℓ トップジン M 水和剤 100 g	前日	6回	500	うどんこ病 炭疽病	①条紋から発生する裂果・ヒビ割れ部への腐敗性病害の侵入対策として有効。条紋多発園で散布する。

1. 落葉病・うどんこ病の防除のため、発生した園地の被害落葉は土中へ埋めるか、集めて焼却する。
2. 越冬病害虫(ヘタムシ・カイガラムシ類等)の密度低下のため、冬期に粗皮削りを実施する。
3. コウモリガによる食入加害の予防のため、根元は常に除草し、キレイにする。

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

当防除暦の複製・  
コピーを禁止します